



どうはらのたき 胴腹滝

遊佐町吉出



〔管理者〕遊佐町 〔保全団体〕胴腹滝周辺環境保全協議会

ポイント

遊佐駅から東に7.5kmほど東の鬱蒼とした杉林の奥に、社を挟んで2つの滝がある。山の斜面の途中から突然多量の湧水が2箇所から流れ出ている。周囲は、流れの中に苔むした石が多数あり、数々の石仏が幽玄で神秘的な雰囲気醸し出している。案内板には、体に良い水であり安産の神としても崇められているという記載がある。山の胴腹から水が出ていることからこの名が付いている。



駐車場から胴腹滝までは林の中を5分ほど歩くが、杉林を進むと滝の音が聞こえる。山形県里山環境保全地域第1号に指定された場所でもある。地元の人は、左右の滝で水質が違い、「コーヒーに合う」「緑茶に合う」と言っている。

アクセス

 (北緯39.040750°、東経139.973389°)

遊佐町役場付近から月光川に沿って県道60号線を7kmほど上り、内水面水産センターを過ぎて400mほど進むと、左側に大型車が5台ほど駐車できる駐車場がある。その先の「胴腹滝 里山環境保全地域」の案内板から林の中を右方向に100mほど入ると「胴腹滝」が見える。

